

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月28日

事業所名:氷川学園児童デイサービス事業所風楽

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	利用定員(午後:5名)での活動を行う上で、支障はない。	
	2 職員の配置数は適切であるか	2	1	配置基準を満たしており、活動内容に応じて加配のスタッフを配置している	個別活動(マンツーマン)実施において、他のご利用児の支援が滞ることがないよう、スタッフ間の連携の強化、担当以外のご利用児の把握に努める。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	一通り整備しており、活動時の環境上の不都合はない	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1	毎回、ミーティングを行い、次への変更、修正すべき点、着目するポイントを話し合い、共有するようにしている。	全スタッフが参画するための、業務の調整が困難になってきているが、月の利用状況を把握の元、短時間でも実施できるように努めていく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		改善が必要なところは、次年度の事業計画に反映している	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		実施しホームページ上に公開し、保護者様へも改善内容を含めた物を配布するようにしている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	未実施	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	法人内部の研修と外部の特性に応じた研修会の情報収集を行い、全スタッフ均等に研修の機会を設けている	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		作成時、ご利用児の状況と保護者様のニーズを考慮した支援計画の作成に努めている	全スタッフが正確なアセスメントをとり、ご利用児の状況を把握できるよう、質の向上に努める
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		事業所でのアセスメントツールと各児の医療機関での検査結果(K式、WISC)を参考にしている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		年間と月ごと・クラスごとにプログラムの立案を行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		同じ内容であっても、そのクラスの様子や障がい特性に考慮したプログラム作成をしている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	利用時間に応じてニーズに沿った課題を提供している年齢に応じた、余暇活動の提案や社会科体験学習を計画している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		個々の利用状況により提供量に差があるが、毎回、個別と集団の活動は実施している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		毎朝、全スタッフ参加の事前の打ち合わせを行っている。	打合せが不十分時もあり、主スタッフの意向で行う時もある。また、発語でのやり取りを行い、シミュレーションに欠ける時もある。前の振り返り時に支援の内容、方法、役割分担を具体的なところまで決めておくように努める
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		その日、掲げている支援のねらい(目標)についての振り返りを行っている。	次への支援方法などの具体性が欠けていたため、支援終了後のミーティングでは、次の活動に活かすようスタッフの統一を図っていく
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3		個別活動・集団活動の各々の記録をとり、次回への支援の方向性を決めている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3		既定の期間に沿って進めている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3		本人・家庭からのニーズと事業所の見立てを組み合わせ活動計画や支援を行った		



区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	3		担当制を採用しており、個別活動を主で実施しているスタッフを出席させている	
	21	3		保護者様と学校との連携を図っていたが事業所へ連絡していただいている。トラブル時も同様	
	22		3	対象児無し	
	23	3		多機能事業所として、就学前からの持ちあがりの為、おこなっていない。定員の上限により、放課後等デイサービスからの新規は受けていない	
	24	3		対象児無し	
	25	3		地域療育センターや発達障害者支援センター主催の研修会などは参加している 年間計画で定期で助言をいただく機会	
	26		3	提供時間やそれぞれのニーズに対しての活動計画の都合上、機会を設定する必要性がなかった。	
	27		3	圏域内の事業所の持ち回りで参加となっている。	
	28	2	1	送迎時を利用しご利用児の様子を伝えたり、相談に対応している。	
	29		3	事業所内では行っていないが、法人内外の事業所で開催されるものへのご案内などは、随時行っている。	
保護者への説明責任等	30	3		契約更新(受給者証更新)時や報酬改定時の確認・説明や利用者負担が生じる際は、予め保護者様へ承諾をいただくようにしている	直接支援の全スタッフが、丁寧な説明が出来るとは言いがたい為、事業所内での勉強会を今後検討していく
	31	3		評価面談時に半年間の様子、伝えたい事今後の事を伺い、それについて方法、一緒に考えることを行っている。随時も行っている。	相談内容によって、適当と思われるスタッフにて対応し、その内容や助言・支援したことを記録に残し、事業所内での共有を図っている。(保護者様からの要望によっては、特定のスタッフに留めておくこともある)
	32	3		交流会を行い、同じ環境やニーズに対しての配慮で紹介は行っている。	企画・実施を行っているが、参加が少ないためアンケートを取りながらより多く参加し、保護者同士の連携や情報交換が支援できるように努めていく。
	33	3		保護者様からの苦情、ご意見においては、早急に対応させていただきご納得・ご理解いただけるように誠実に対応している。(記録にも残している。)	ご利用児からの苦情、要望においてはその都度の対応を行っており、記録(集)をまとめて取っていないため、ご利用児の記録を今後検討していく
	34	2	1	今年度途中までは毎月の便りを発行していたが、業務内容の見直しにより、現在、休止としており、必要な情報、研修等の案内は、随時、文書へ電話等でお知らせするようにしている。	次年度は、再開に向けた業務内容の見直しに努めていく
	35	3		書類、活動で使用するもの以外、個人の名前は書かない(イニシャル) 廃棄する書類は必ずシュレッダーにか	
	36	3		相談・要望、ご意見等に対して必ず、何かしらの手段でお伝えするようにしている。	
	37	2	1	法人内の行事に入り、地域住民への理解につなげている	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3		周知がほとんどできていないので、各マニュアルを事業所玄関におき、保護者様へ見ていただく機会を設定するとともに茶話会などでの集団や面談時の個別での説明を行い、周知に努める
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2		全ご利用児が体験できるように定期実施ではなく、1週間の期間で実施した。	それぞれの非常時の訓練が多くのご利用児に体験できるように定期実施に向けた計画に努める
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		3	対象児無し 必要に応じて、事業所・保護者・関係機関と話し合いを行い、決定し支援計画にも記載を行う	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		食事提供は実施していないが、契約時の聞き取りや活動(調理)の際は、事前にご家族に確認をとっている。	保護者様から食べ物アレルギーの申告は、されているが医師の指示書の有無は未確認であったため、今後は確認をとっていく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	スタッフがそれぞれ気づいた時点で、ミーティングを実施し、改善、対策をとっており対応している。	